

## 平成 23 年度富山県薬事研究所研究課題外部評価結果について

薬事研究所では、平成 16 年度から「薬事研究所研究評価実施要領」に基づき、重要な研究課題について、評価の客観性・透明性を確保するため、外部の専門家からなる外部評価委員会を開催しています。

平成 22 年度、外部評価委員会に諮った研究課題の評価結果等は次のとおりです。

1 開催日時 平成 23 年 10 月 7 日（金）13:30～16:30

2 開催場所 富山県薬事研究所研修室

3 外部評価委員（○：委員長 五十音順）

委員名	役 職
牛島 豊彦	東亜薬品(株)執行役員 研究開発本部長兼分析代謝研究部長
○倉石 泰	富山大学医学薬学研究部 教授
合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所生薬部長
須田 貴司	金沢大学がん研究所 教授
松井 竹史	テイカ製薬(株) 代表取締役社長

4 評価方法

薬事研究所研究評価実施要領に基づき、各委員には、評価区分ごとに定められた個別評価項目の評価結果を踏まえ、総合評価を 5 段階で評価していただき、その平均点から総合評価を決定しました。

<個別評価項目>

評価区分	評 価 項 目
事前評価	必要性、新規性・創造性、目標達成の可能性、研究内容（計画・方法）の妥当性、有用性（期待される効果）
中間評価	計画の進捗状況、目標達成の可能性、有用性（期待される効果）
評価基準	a：極めて高い（極めて適切である） b：高い（適切である） c：ある（概ね適切である） d：低い（改善の余地がある） e：極めて低い（全面的な見直しを要する）

<総合評価>

評価区分	評 価
事前評価	A：計画どおり実施可 B：一部修正して計画どおり実施 C：修正して実施 D：実施不可
中間評価	A：計画どおり継続可 B：一部修正して計画どおり継続 C：修正して継続 D：次年度以降、継続不可
評価基準	A：平均点が4点以上の場合 B：平均点が3点以上4点未満の場合 C：平均点が2点以上3点未満の場合 D：平均点が2点未満の場合

## 5 評価結果

今年度は、次の研究課題について外部評価を行いました。

詳細につきましては、[各個票](#)をご覧ください。

番号	評価区分	研究課題	総合評価
1	事前	アレルギー及び非感染性炎症を制御する植物由来化合物の解析	A
2	中間	生活習慣病に有効な天然物の探索と医薬品などへの開発研究	B
3	中間	がん細胞による免疫抑制を克服する天然薬物の探索	A
4	中間	シャクヤクの品種別薬理試験	A

## 6 今後の対応

事前評価及び中間評価で、総合評価がBとなった番号2の研究課題について、次のとおり対応いたします。

<番号2>

- ・膵臓β細胞の障害の程度は、血中及び膵臓中のインスリン濃度並びに血糖値の変化で判定できるものと考えています。必要に応じ、マウスの系統差等も考慮し、新たな評価方法を確立することといたします。
- ・誘導体のスクリーニング及び標的分子の同定については、本事業での実施が困難なことから、別事業での実施を検討いたします。
- ・論文化については、培養細胞を用いた評価結果を加え、投稿したいと考えています。
- ・IL-1βは、1型及び2型糖尿病の発症のいずれにも関与することが報告されていることから、まずは、それぞれの糖尿病モデルマウスを使って検討することとしています。
- ・今後、接種量のデータを示すことといたします。

また、上記以外の研究課題に対していただいた意見を今後の研究に活かし、研究目的の達成

に向けて努力していきたいと考えております。